

警 城 日 日

発行所 警城日新聞社
福島県磐城市港廻51
電話 387番
編集人 櫻村 清
発行人

酒は清世界
上明町一九
清水屋商店
小野 義一
電話 四五六番

一万ト岸壁工事費 九千万圓確保陳情

期成同盟会本日大挙出県

小名濱商港期成同盟会小野田縣議等一行十八人も九千万圓を要する。では、一万ト岸壁工事費である。九千万圓確保のため本日小名濱商港の整備は常磐法に基き起債については大挙出県、縣當局に陳情地方總合開発の門戸で自治廳と再三交渉を重ねた。一行は警城市長、議長、完成には今後億二千の見透しがついたもの。港灣委員長全委員、漁業一万トの工費を速急調達す縣財政の現状から見て、組合代表と常磐炭礦、吳る必要に迫られて居るが縣の起債枠内での健全財羽化学、日本水素等關係少くとも災害に心配な政の建前からこれを縮小会社代表並に地元選出の最少限度の施工をなすし他に操作される危険が

警城百人評

趣味はと聞えたら言下すに至つたもので、今や警城漁業界の大御所は生粋の漁業家だ。「酢屋」と云えばいわき七浜に開いた家柄で、壽和丸の船主様である。十二才の時父に別れたが、その時既に長兄猪太郎も亡く、次兄相次いで去り、他家に養子に行つた三兄才助が止むなく戻つて家業を継ぐ有様でこの兄さへ早逝し、彼は末弟の身を以て家督を継承したのである。肉親の相次ぐ不幸と財政窮乏時代に人となつた彼は、非常な熱意を以て事業經營の任に當り、よく今日の大をな

五市議長会

昨日警城市で開催

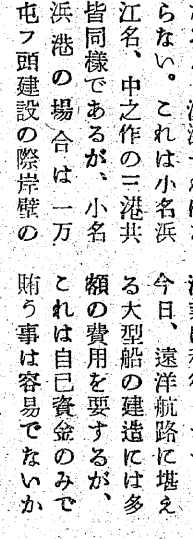
警城市の発展は今後の縣政の重点をなして、常磐地方總合開発の所を以て五市(平、常磐、早期實現を期すために、市はその機能を充分に発せしめなければならぬ。最大の急務は商港の完備である。これに對し地元の熱意は長に常磐市議會議長越田が幾分足りないのではな

潮 流

昨日小名濱公民館で開かれた日本棋院警城支部の第一回圍碁大会に恐るべき豆碁士が現われ地方の天狗連をコロコロとやつつけてアツトい

気 象 予 報

(今晚) 東風、くもり(明日) 北東の風、大体はくもりで初めは幾らか小雨の降る事もありませ



漁業界の元老 警城漁業委員長 野崎 貞行

裏込めに使う土砂にするため港内を浚渫し、沿岸漁港維持費が懸念なればならぬ問題だ。算では六〇〇万位の予算で市の漁業委員会とアグリ等の設備さえ他より劣つて居る。この

備では漁業は衰微する一方だ。警城市の発展に伴つて地曳網の營業所や小舟の揚場がなくなつて了、この小漁業家の擁護も必要だ。廻船誘致優遇の立場からも海員會館を建設せねばならぬし、船員の養成もやらねばならぬ、更には漁業家は多角型的事業經營として獲ると共に自分の漁獲物の処理も考へねばならぬと抱負は盛り山に持つて居る。彼は熱心に富み人情に厚く、潔癖性が強いから短氣だ。小野晋平町長が、お茶菓子を貰つて来いと小使を呼んだが相續々と小銭は五〇銭札二札しかなかつた。始めて出たこの札を珍しがつた比佐氏が欲

津波予防

津波予防 伝達訓練 小名濱海上保安部では本月下旬津波予報傳達訓練を部長指揮の下に實

移 民 希 望 登 録

移民希望登録 縣では七月以降の海外移住を調査希望登録を行う事になり、警城市でも希望登録を行つて居る。

船 船 マ グ

船船マク 昨十九日小名濱底曳網漁業野正(二)が五〇〇入

ヒロポン所持者 逮捕さる

ヒロポン所持者 逮捕さる 警署ではかねてヒロポン所持者を内偵中であつたところ十七日午前十一

本紙取扱店の お知らせ

本紙愛読希望の方は左記取扱店に御申込み下さい
旧小名濱地区 本社營業部 電話三八七番
旧江名地区 大字江名屋新聞販賣店
舊泉地区 大字下川うとん屋商店 電話(江名)二一
旧鹿島地区 大字御代佐原酒造店 小森谷次郎藏方
舊玉川地区 大字住吉成屋商店 電話(走熊)五番

最も良心的な たけや清掃部 警城市辰巳町 電話一四五番
タクシー の御用は!! 電話一本ですぐ参ります 旭タクシー TEL(警城) 107 754
井澤林産 警城市本局前通り 電話104番

治療 犬猫 往診 格致醫院 電話 958
犬猫 往診 格致醫院 電話 958

求む 新聞擴張員 若千名 委細面談 警城日新聞社
シマス 賃換 一般羽柄材 家具建具材 ベニヤ板 フローリング ラワン材 秋田板 井澤林産 警城市本局前通り 電話104番

